



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 コード番号 3902 URL <http://www.mdv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩崎 博之
 (氏名) 柳澤 卓二

TEL 03-5283-6911

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	1,732	—	123	—	122	—	75	—
27年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 75百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	8.01	7.63
27年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社グループは、平成28年12月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,943	2,579	87.6
27年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 2,579百万円 27年12月期 一百万円

(注) 当社グループは、平成28年12月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年12月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,001	—	303	—	300	—	174	—	18.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社グループは、平成28年12月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	9,493,600 株	27年12月期	9,439,600 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	320 株	27年12月期	320 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	9,457,849 株	27年12月期3Q	9,261,936 株

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行い、また平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社グループは、前事業年度に設立した子会社について、重要性が増すことが見込まれると判断し、平成28年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 事業等のリスクに関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一連の政府による経済政策や日銀による金融政策を背景に、企業業績や雇用環境の改善が見られました。一方、中国や新興国経済の減速の影響や、英国の欧州連合(EU)からの離脱決定など、引続き不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた平成37年(2025年)の医療・介護の将来像の実現に向けて、医療行政は医療機関に対して機能分化を推し進める医療制度改革の舵取りを行っております。そのような背景の下、平成28年度診療報酬改定は、一般病棟7対1入院基本料の要件厳格化や医療機関の機能分化、在宅医療の充実を重視した改定内容となりました。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の累計導入数が779病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有するにいたりしました。

また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の累計導入数は208病院となりました。

新規事業として、デジタル健康ソリューション「エースビジョン」を導入した病院が発行する診療情報統合IDカード「CADA」に、決済機能を付加することにより、医療費決済サービスの実証実験を開始しました。10月から医療費専門の決済事業へ本格的に進出しております。患者にとって、長い支払いの待ち時間がなくなるうえ、自己負担分の医療費後払いが可能となるサービスであり、子会社CADA株式会社にて行っております。

主として製薬会社向けのデータ利活用サービスにおいては、診療データ分析ツール「MDV analyzer」の利用社数が、13社となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が注目されている中、当社が保有する大規模診療データベースについて、2016年9月末現在で、実患者数が全日本国民の8人に1人に相当する1,597万人となりました。

これら大規模診療データベースの利活用サービスは、製薬会社や研究機関、OTC・H&BC企業に留まらず、新たにインシュアランス業界に向けてサービスを開始しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,732,208千円となり、売上総利益は1,419,696千円となりました。

販売費及び一般管理費については、1,295,975千円となりました。その結果、営業利益が123,721千円となりました。

営業外損益については、営業外収益として受取利息等を計上し、営業外費用として主に株式交付費償却等を認識したことにより、経常利益が122,219千円となりました。

特別損失として固定資産除却損を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は122,015千円となりました。

法人税、住民税及び事業税を41,503千円計上し、法人税等調整額を4,763千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は75,749千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は、2,943,686千円となりました。

内訳として、流動資産は2,428,689千円、固定資産は、511,922千円、繰延資産は3,074千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、363,819千円となりました。

内訳として、流動負債は343,137千円、固定負債は20,681千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は、2,579,866千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月8日の「連結決算への移行に伴う通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 事業等のリスクに関する説明

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、及び、前事業年度の決算短信に記載した事業等のリスクについての重要な変更は以下のとおりであります。

なお、本項記載のうち将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

1. 個人情報の保護、顧客情報の保護について

当社グループは、多数の医療機関・製薬会社・個人に対してサービスを提供しております。提供に際して、顧客より、要配慮個人情報である診療情報等の機密情報を受け取る場合があります。その取扱いには、現時点で考える最善の情報セキュリティ管理策を講じるとともに、各担当者が細心の注意を払い運用しております。しかしながら、機密情報の流出等の重大なトラブルが当社グループで発生した場合には、当社グループの社会的信用は低下し、お客様に対する賠償責任が発生する可能性があります。その場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、個人情報を含む情報資源に関して、個人情報保護法等の関連規制を遵守しながらその管理体制を整備しておりますが、今後個人情報保護法の改廃や新たな法的規制が設けられる場合や個人情報をめぐる社会情勢の変化、関係官庁等の対応の厳格化等により対応が必要な場合には、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 決済事業における貸倒れについて

当社グループでは、医療費専門の決済事業を営んでおります。債権の貸倒れによる損失に備えるための必要額を計上しておりますが、景気の変動、顧客の信用状況の変化、その他の事由により、貸倒損失、または貸倒引当金繰入の負担が増加し、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第2四半期連結累計期間より、重要性が増したことに伴い、CADA株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成28年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,904,963
売掛金	453,950
原材料	12,908
その他	56,872
貸倒引当金	△5
流動資産合計	2,428,689
固定資産	
有形固定資産	117,493
無形固定資産	206,423
投資その他の資産	188,005
固定資産合計	511,922
繰延資産	3,074
資産合計	2,943,686
負債の部	
流動負債	
買掛金	51,868
未払法人税等	7,012
その他	284,257
流動負債合計	343,137
固定負債	
資産除去債務	18,628
その他	2,053
固定負債合計	20,681
負債合計	363,819
純資産の部	
株主資本	
資本金	917,406
資本剰余金	1,502,126
利益剰余金	160,644
自己株式	△311
株主資本合計	2,579,866
純資産合計	2,579,866
負債純資産合計	2,943,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,732,208
売上原価	312,512
売上総利益	1,419,696
販売費及び一般管理費	1,295,975
営業利益	123,721
営業外収益	
受取利息	189
その他	336
営業外収益合計	526
営業外費用	
支払利息	20
株式交付費償却	2,007
営業外費用合計	2,027
経常利益	122,219
特別損失	
固定資産除却損	204
特別損失合計	204
税金等調整前四半期純利益	122,015
法人税、住民税及び事業税	41,503
法人税等調整額	4,763
法人税等合計	46,266
四半期純利益	75,749
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	75,749
四半期包括利益	75,749
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	75,749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。